



2020年11月16日

各 位

会 社 名 サクサホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 丸井 武士  
(コード番号 6675 東証第1部)  
問合せ先 総務人事部長 和田 聡  
(TEL. 03-5791-5511)

## 剰余金の配当の検討結果および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、臨時配当の実施の有無および期末配当予想の修正について、下記のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. (開示事項の経過) 剰余金の配当(臨時配当)の検討結果

当社は、2020年6月24日付「(変更) 剰余金の配当に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、2020年3月末日を基準日とする剰余金の配当につき無配とする際に、特別調査委員会の調査が完了し、第17期の連結計算書類が確定した段階で、別途基準日を定めて配当を行うかの検討を行うこととしておりました。本日公表の「2021年3月期第2四半期業績の前期実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、過年度における不適切な会計処理に係る費用の特別損失計上に加え、新型コロナウイルス感染症拡大によるアミューズメント市場の設備投資需要の大幅な落ち込みを想定しております。したがって、上記の状況を踏まえた検討の結果、当該配当は見送らせていただくことにいたしました。

#### 2. 配当予想の修正

##### (1) 2021年3月期配当予想の修正

	年間配当金(円)				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想	円 銭 -	円 銭 -	円 銭 -	円 銭 -	円 銭 -
今 回 修 正 予 想	-	-	-	30.00	30.00
前 期 実 績 (2020年3月期)	-	0.00	-	0.00	0.00

##### (2) 修正の理由

当社は、急速に進展する技術革新や市場環境の変化に対応するための研究開発や設備投資等に備え、内部留保の充実を図りながら、親会社株主に帰属する当期純利益の30%以上の配当性向を目標とし、安定的な配当を目指すことを基本方針としております。そして、上記「1. (開示事項

の経過) 剰余金の配当の検討結果」のとおり 2020 年 3 月期については、訂正決算後の親会社株主に帰属する当期純利益 1,027 百万円を計上したものの、不適切な会計処理に伴う調査実施により第 17 期定時株主総会で剰余金の配当ができなかったことに加え、当期に過年度における決算訂正関連費用等 19 億円を特別損失に計上する見込みとなりました。

しかしながら、当該特別損失については、2020 年 3 月期以前の決算に関する訂正に伴う費用でありますので、当期の配当方針に限り、連結経常利益をもとに特別損益を零とした場合に算出される親会社株主に帰属する当期純利益の 30%相当を目途に分配可能額の範囲内で、実現することを目指します。

これまで、配当予想を未定としておりましたが、本日、「2021 年 3 月期第 2 四半期業績の前期実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり業績予想を公表したことに伴い、配当予想も公表いたします。2021 年 3 月期の業績は、非常に厳しい見通しであります。上記の方針に基づき、検討した結果、2021 年 3 月期の期末配当予想は、1 株当たり 30 円とさせていただきます。

※本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

以 上